

【優秀賞】

団体名	大阪府立堺工科高等学校<定時制課程>
活動の内容（概要）	本団体は、地域の地場産業や各企業・店舗等で就業体験をした定時制課程の高校生が、自身の体験をもとに小学生の職業体験をサポートするプログラム「ゆめ・チャレ」を、大阪府教育庁、NPO、産業界と連携して実施しており、その規模を年々拡大させながら、地域に活力を生み出している。

受賞理由

- 大阪府教育庁、NPO、産業界と府立堺工科高等学校定時制課程との連携による、小学生の職業体験プログラム「ゆめ・チャレ」の実践である。
- 当該定時制課程に在籍する高校生にとって小学生に対して指導するというアクティブ・ラーニングの機会となるにとどまらず、小学生にとってはリアルな職業体験となり、協力事業所にとってはCSR及び活性化の機会となっている点が評価できる。
- 様々なキャリア教育における体験活動が実践されているが、社会人と児童生徒という関わりが一般的ななかで、定時制課程の生徒がサポート役で関わる例は特筆できる。
- 体験を実施する児童はもちろんのこと、支援する定時制課程生徒にも「地元産業の理解」「ボランティアシップ」「コミュニケーションスキル」等多くの教育的効果が期待できる。
- 高校生が学んだことを小学生に伝える異世代交流で取り組む地域理解など、他の地域でも取り組んでもらいたいプログラムである。

連携・協働している機関や団体、組織

【教育関係者（学校、教育委員会等の機関や団体）】

大阪府教育庁、大阪府立堺工科高等学校（定時制の課程）、大阪府立大学、プール学院大学、プール学院短期大学、摂南大学、堺市立大仙小学校、堺市立熊野小学校、堺市立市小学校、堺市立錦小学校、堺市立錦西小学校、堺市立三国小学校、堺市立榎小学校、堺市立英彰小学校

【行政や地域・社会、産業界等】

大阪府教育庁、南大阪地域大学コンソーシアム、堺刃物商工業協同組合、堺線香工業協同組合、堺山之口連合商店街振興組合、大小路界隈夢倶楽部、（株）奥野晴明堂、味岡刃物製作所 等

活動開始の経緯

【活動開始時期】平成25年～ 【継続年数】4年

これまでに地場産業をはじめ、様々な職業体験を実施してきたが、生徒は体験するだけでは仕事の内容等がよくわからないという現状であった。

体験した仕事内容をより深く理解するためには、教える側の立場に立つことが重要な事だと考え、本校生徒が職業体験をして仕事を理解し、小学生の職業体験をサポートするという「ゆめ・チャレ」プロジェクトを立ち上げた。

「協力性」についての具体的な取組, 工夫している点など

本校は「堺学」という授業で、伝統地場産業である「包丁作り」と「線香作り」を、地域の伝統工芸士の方々から学んでいる。本校生徒が作った「包丁」と「線香」及び義捐金を東日本大震災の被災地に寄贈していることがマスコミ等に取り上げられ、本校の地場産業との取組が地域の方々の知るところとなり、学校と地域の企業・店舗が一緒に出来る取り組みについて考えようということになった。

地域の商店街と本校が協力して、「キッザニア」をモデルとした、小学生仕事体験事業の「ゆめ・チャレ」(夢に向かってチャレンジ)を立ち上げたが、まず多大な資金が必要であること(高校生・小学生の職業ごとのユニフォーム一式、材料費、会場費、講師謝金等その他諸々の経費)が課題となった。行き詰まった時に、大阪府教育委員会(現大阪府教育庁)にこの事業の趣旨説明を行うと、かなりの予算を計上して頂いた。また、企業・店舗側も小学生・高校生のキャリア教育の手助けが出来るなら、時間面・資金面において全面的に協力をして頂いている。堺市役所の方々も積極的に支持してくれ、関係機関・団体の協力要請もしてくれている。

「継続性」についての具体的な取組, 工夫している点など

小学生から職業意識を持つことは非常に重要なことで、自分が住んでいる地域の地場産業を知り、身近なところにある企業・店舗の仕事内容を体験することによって、「仕事」ということをより深く理解することは大切なことである。さらに、「仕事をする」ことにより「お給料」をもらうことが出来るという社会の構造をも理解することも出来る。

「ゆめ・チャレ」は、毎年6月頃に準備を始め、各企業・店舗等に協力依頼をし、学校内で検討を重ね、体験内容を決定していく。7、8月に本校生徒に仕事体験をさせ、仕事内容の理解と小学生に対するサポート内容の確認をする。10月頃までに本校職員及び企業・店舗ですべての内容を決定し、11月に小学校に案内チラシを配布し、12月に実施する。

体験後のアンケート等により、高校と小学校は、児童・生徒の職業意識について情報を得ることが出来、体験の在り方について改善点を見出し、企業・店舗側は、体験内容等についての改善点を見出すことが出来る。また、回を重ねるごとに応募者数が増加しているため、毎年受け入れ体制の充実を図り、次年度に向けて様々な工夫をしている。その他課題等があれば、地域と学校がすぐに対応し、改善している。

「実践性」についての具体的な取組, 工夫している点など

本校生徒の課題は自分に自信がもてず、コミュニケーション能力が低く、基本的な生活習慣が身につかず、昼間継続して働くことが出来ないという点であり、定時制高校本来の役割である勤労青少年の学び場でなくなりつつある。そこで本校においては以下の4点に取り組んでいる。

- ・ 伝統地場産業を学び、「ものづくり」を通じて地域に誇りを持ち、自分にも誇りを持つ。
- ・ 地場産業を通して学校外で様々な職業体験をし、基本的な生活習慣を身につけ、コミュニケーション能力等をつける。
- ・ ボランティア活動に積極的に参加し、他者から感謝されることにより自己有用感を持つ。
- ・ 小学生等に教える立場に立つことにより、自分に自信を持つ。

また、地域の課題としては、伝統地場産業の広報及び後継者問題、若い世代に対する伝統文化の継承、及び商店街の広報や活性化等があげられる。小学校の課題は、近隣の小学生が職業体験を通して交流し、学校の垣根を越えて「キャリア教育」について意見交換をする機会がなかった点である。「ゆめ・チャレ」事業はまさに、本校と小学校の課題と地域の課題を解決する取組である。

「発展性」についての具体的な取組、工夫している点など

「ゆめ・チャレ」は単なる職業体験やインターンシップではなく、高校生は小学生に仕事を教えることが出来るようにスキルアップし、小学生は体験ではなく、仕事に合ったユニフォームを着て仕事をする。それによって「お給料」をもらい、社会や経済についても学ぶことが出来るので本当の意味でのキャリア教育であると考えます。

学校と地域の連携が、地域の方々と生徒の成熟した関係を築き上げ、次なるステップに進んでいる。まず地域と共に「東北支援プロジェクト」を立ち上げ、本校生徒が作っ

た伝統地場産品を寄贈させて頂いたり、商品化した物を地域のイベントで販売し、売上金を義捐金として寄付し、被災地の支援をさせて頂いている。また、被災地の原料を用いて、地域の産業技術を用いて学生が商品開発をおこない、地域と被災地の交流を図り、様々な発信をしている。12月には本校生徒が中心となり、大阪府堺市の伝統地場産品の「線香」を用いて、世界最大のモザイク画による「ギネスブック」への挑戦が決定している。参加生徒のキャリアになることは間違いないことで、世界一が達成されることを願ってやまない。



<修了証とお給料をもらい記念撮影をしている様子>

学校現場の評価・感想・コメント

学校現場としては、「ゆめ・チャレ」に参加した本校生徒は、小学生をサポートするために一生懸命に仕事を覚え、戸惑っている小学生にアドバイス出来ることが嬉しくて仕方がない様子で、授業では見せたことのない生き生きとした表情をしているとの評価である。よって、生徒のキャリア教育の充実のために、今後も学校全体で重点的に取組んでいかなければいけない行事であるという確認をした。また小学校においても、子どもたちが非常にいい笑顔で、真剣に体験している様子に感動したという評価を頂き、今後も継続してもらいたいというオファーがあり、非常に協力的である。

関係諸機関（行政・産業・地域団体等）からの評価・感想・コメントなど

「ゆめ・チャレ」については、大阪府教育庁の方々及び教職員の方々の依頼で、数回発表させて頂いており、高い評価を得ている。商店街、地域、小学校のPTAの方々からこれまでに例を見ない素晴らしいイベントと絶賛して頂いている。他府県からの講演依頼もあり、「ゆめ・チャレ」は全国のモデル事業になりつつあり、本校はパイロット校として活動してもらいたいという高い評価を得ている。地域団体や堺市の行政からも高い評価を得、今後も全面的に協力するというコメントを頂いている。



<茶道体験する小学生とサポートする高校生の様子>

	実施日	協力企業数	体験数	応募者数	体験人数
第1回	2013/12/15	10	10	107	68
第2回	2014/2/23	18	28	235	129
第3回	2014/12/21	20	34	312	167
第4回	2015/12/20	24	43	436	205

<夢・チャレの推移>

第4回 ゆめ・チャレ(子ども仕事体験)

内容 プロの指導のもと、堺工科大校定時制の生徒がサポートをし、様々な種類の仕事を体験できます。給料として疑似通貨(ユーメ)がもらえます。その疑似通貨(ユーメ)により、指定の場所でお買い物ができます。

日時 平成27年12月20日(日)10:00~17:00(体験によって時間が異なります)

(実施時間の30分前まで)奥野晴明堂ホールに集合ください。

場所 山之内商店街内 奥野晴明堂ホール 〒590-0952 堺市堺区市之町東 2-1-4

対象 堺在住の小学生 必ず保護者同伴でお申し込みいたします。

申込 申込締切 平成27年12月1日(火)まで

参加申込書につきましては、裏面添付しております。注意事項をお読みの上お申し込み下さい。

すべて抽選となり、当選者には、FAXでご連絡させていただきます。

12月10日(木)までに連絡がない場合は、落選となります。

***注意** 駐輪場・駐車場はありませんので公共交通機関をお使いください。

番号	体験名	実施予定時間	定員	内容	企業
1	パン屋さん体験	10:00 12:00	各5名	パンをつくらう	ペーカリーマルミ
2	サシム(お祝い型)づくり体験	10:00 16:00	各5名	サシム(祝い型)をつくらう	辻香月久太郎
3	マクドナルド体験	12:00 14:00	各5名	Dでマクドナルドを体験しよう	マクドナルド堺一楽店
4	お餅づくり体験	10:00 16:00	各5名	お餅をつくらう	奥野晴明堂
5	ジュエリーづくり体験	12:00 16:00	各5名	かぶりいブレスレットをつくらう	萬字堂
6	包丁づくり体験	10:00 12:00	各5名	包丁をつくらう	精肉丹波製作所
7	和菓子づくり体験	12:00 14:00	各5名	和菓子をつくらう	丸車菓子軒
8	レストラン体験	15:00	5名	伊賀屋さんのお弁当をつくらう	浪花亭
9	和食器体験	14:00 16:00	各5名	レアチーズプリンをつくらう	創次郎
10	ジュースづくり体験	14:00 16:00	各4名	カクテルジュースをつくらう	紙カワソ
11	お寿司屋さん体験	14:00 15:00	各4名	お寿司をつくらう	伊勢舟司
12	流木アート体験	10:00 12:00	各4名	流木でマクドナルドをつくらう	総代理店 AJUKAWA
13	ハンコづくり体験	10:00 12:00	各5名	石のハンコをつくらう(篆刻)	風文堂印刷
14	織物体験	14:00 16:00	各4名	革のホームプレートをつくらう	鞠の館
15	木工体験	14:00 16:00	各4名	竹障子をしよう	家長の大黒屋
16	お花屋さん体験	10:00	5名	フラワーアレンジメントをしよう	木ざり
17	消防士体験	14:00	5名	消防士体験をしよう	堺消防署
18	茶葉鑑定体験	12:00	5名	色々な茶葉を鑑定しよう	つば市別茶本舗
19	和菓子づくり体験	14:00 16:00	各5名	市産餅をつくらう	河十兵衛店
20	餅もち体験	10:00 12:00	各5名	ゆい庵みでマフラーをつくらう	武庫川商店
21	とんぼ玉体験	10:00 12:00	各5名	とんぼ玉でストラップをつくらう	和泉屋輪王 山月工房
22	タオルアート体験	14:00 16:00	各5名	タオルフrazier・ケークをつくらう	泉米庵
23	茶の湯体験	10:00 12:00	各5名	利島の杜の茶室で茶の湯体験しよう	さかみ利島の杜
24	お餅つき体験	10:00	5名	お餅つきをしよう	鏡さきや ぼん元

*体験時間の指定はできません。

協賛：奥野晴明堂・大小路昇陽会倶楽部・藤本前会
協力：堺山之内連合商店街振興組合

主催：大阪府立堺工科大校 定時制

(お問い合わせ)
〒590-0801 堺市堺区大仙中町12-1

☎072-241-1401 佐藤 教頭 宛

*お問い合わせは、18:00~20:00にお願いたします。



<夢・チャレの募集ちらし>



<疑似通貨 ユーメ>



<夢・チャレの体験別写真>